

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	102	主要な生活道路の整備推進					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	03	快適な生活環境づくり					
施策	02	人にやさしい道路、交通施設の整備					
事業内容							
目的	主要な生活道路を、歩行者が中心の安全で快適な道路とするとともに、消防活動困難区域解消のために道路の幅員等、防災機能の向上を図るために整備します。						
対象・手段	対象：主要な生活道路（地区内主要道路、主要区画道路）77路線 手段：地区計画等まちづくり施策と連携して整備を進めます。						
成果（事業が意図する成果）							
主要な生活道路を整備し道路幅員を広げることにより、歩行者の安全が確保され、快適な道路となります。また、主要区画道路の整備により消防活動困難区域が解消され、防災機能が向上します。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
主要な生活道路の整備	目標幅員を確保し、整備した路線	() 年度に					
		(77路線) の水準達成					
		() 年度に					
		() の水準達成					
		() 年度に					
		() の水準達成					
成果の達成状況							
	単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
事業 成果 指標	目標値 1	路線	77.00	77.00	77.00	77.00	道路の幅員は、時間がかかるため目標年次の設定はできません。 平成19年度に完成した市谷本村町と市谷砂土原町は道路の一部であるため、実績（本表「実績1」欄）には反映されていません。
	実績 1	路線	24.00	24.00	24.00	24.00	
	= /	%	31.17	31.17	31.17	31.17	
	目標値 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	整備方針案の検討 開発等による整備（施工中 北新宿（再開発）、市谷砂土原町（自費）等）						
平成19年度	整備方針案の検討 開発等による整備 施工中 北新宿（再開発） 完 成 市谷本村町（開発行為） 市谷砂土原町（自費）						

部名称		都市計画部			課名称		都市計画課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	0	0	0	0		
	人件費	千円	6,670	6,670	6,624	6,608		
	事務費	千円	71	53	68	32		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	6,741	6,723	6,692	6,640		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	6,741	6,723	6,692	6,640		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	6,741	6,723	6,692	6,640		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.80	0.80	0.80	0.80		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>区が道路用地を買収して拡幅整備することは難しい状況ですが、歩行者の安全確保や、消防活動困難区域解消のためにも早期整備が求められており、まちづくり施策と一体となって整備手法を検討していく必要があります。そのためには、区民や事業者に整備の必要性や重要性を理解してもらうよう周知、啓発を行うとともに、住宅の建築やまちづくりの時期を的確に捉え、整備に向けて協議、調整を進めていく必要があります。</p>								
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	2	再開発等の中で整備されつつある路線がありますが、道路のみでなく、まちづくり全体の整備の中で事業を進めるため、目標達成には時間を要します。現在、北新宿の再開発が事業中であるほか、市谷本村町、市谷砂土原町で行われていた事業が完了しました。					
	実施の成果	2	まちづくり等の機会を捉え、必要となる道路整備を誘導していくことで、安全で安心な都市基盤を整備することができます。					
	効率性	2	再開発等のまちづくり事業の中で道路を整備していくため、区財政を投入せず費用対効果の面で効率的ですが、事業が具体化するまで時間を要します。					
	行政の関与	3	道路の拡幅整備のためには、まちづくり等の中で区が関与して誘導していく必要があります。					
	妥当性	2	歩行者の安全確保、消防活動困難区域解消のため、まちづくりの中で道路を拡幅していくことは必要です。					
	施策寄与度	3	早期に道路を拡幅していくことは、歩行者の安全確保や消防活動困難区域を解消し、人にやさしい道路整備に寄与するものです。					
総合評価	平成19年度の評価をBとした理由は、開発等で進められていた道路整備が、計画どおり完成したからです。その内容は、市谷本村町の開発行為と市谷砂土原町の自費工事です。また、過去3年間の実績ではBと評価します。その内容は、まちづくりの中で着実に生活道路の整備が進められたからです。						B	
							過年度評価	
改革方針							18年度 B	
							17年度 B	
						16年度 B		
						15年度		
						方向性		
生活道路の整備にあたっては、用地買収による整備では区の財政負担が大きいため、民間の大規模開発やまちづくり等の面的整備と連携して整備を図っていくこととし、経常事業の「主要な生活道路の整備推進」に引継いで取り組みます。						1		
						現状のまま継続		